

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

	1年	2年	3年
4月	思いっきり自己紹介	思いっきり自己紹介	思いっきり自己紹介
5月	海洋実習に向けて	校外学習に向けて	
6月	☆地域学習(部落問題学習) ・洞村学習 ・地域の人々との出会い他 《出会い その1》	☆部落問題学習 ・差別の現実学ぶ ・結婚差別など 《出会い その4》	☆進路学習 ・高校訪問に向けて ・高校調べ (反戦平和学習)
7月	(反戦平和学習)	(反戦平和学習)	・高校等体験入学
8月			オープンスクールに参加
9月	体育大会に向けて	体育大会に向けて	体育大会に向けて
10月	☆福祉ボランティア体験学習 ・障がい者問題学習 ・福祉ボランティア体験 《出会い その2》	☆職場体験学習 ・職業調べ ・労働学習 ・職業人のナマの声を聞く 《出会い その5》	☆進路学習 ・将来を見すえて ・夜間中学や定時制高校に学ぶ
11月			・奨学金制度を知る ・あおぞらの生徒の進路について ・ゲストティーチャーに学ぶ 《出会い その7》
12月		☆国際理解学習 ・韓国・朝鮮との出会い ・アジアの国々との出会い ・在日コリアンの現状 《出会い その6》	畝中生活総括
1月	☆命の学習 ・性教育 ・命について学ぶ 《出会い その3》		・文集づくり ・答辞作成など
2月			
3月		修学旅行に向けて ・修学旅行実施	

1. 校内の人権教育(持続可能な社会の担い手を育む教育)実践年間計画

①人権を尊重する意識・態度を育成するための取り組み内容

- ・人権に関するアンケート調査を行い、生徒の意識や実態を把握する。
- ・班活動を重視し、班ノートの充実。班で問題提起があれば、学活や終わりの会で話し合う。
- ・学級通信を発行し、班ノートの内容を載せたり、人権問題を意識させる内容を載せる。
- ・特別支援学級からの新聞を使い、「障がい者」について考えさせる。
- ・人権教育部からの通信を使い、人権意識をもたせる。

➤ 各学年の取り組み

[1年生]

・部落問題学習

1学期に洞村フィールドワークを実施。小学校の時にも学習しているので事前学習の資料の読み取りも熱心に聞くことができたように思う。

おおくぼまちづくり館や洞村、移転後の生活について、福西先生・山本先生・吉住先生の講義を受け、実際にフィールドワークをして学べたことはとても良かった。楠原宗吉さんの生き方に学び、洞村移転は決してマイナスイメージではなくピンチをチャンスに変えたという点に重点をおいた指導をしてきた。

・障がい者問題学習

ビデオ「風の旅人」で宇都宮さんの生き方に触れる。その後、重度脳性ま

ひを抱え夫婦生活を送っておられる藤本隆二・弘子夫妻や車いすで生活されている根木慎志さんに車いすバスケットの講演をしていただく。根木さんの「出会った人と友達になる」という生き方は生徒たちの心をとらえる。恥ずかしいこと(苦手なこと)でも、一生懸命にやるということを教えていただく。その後、本校出身である吉田隼人さんが所属するフォーエンジェルス演奏や講演、現2年生の堀口伸也さんのお母さんの講演を聴く。これらの学習からスロープの修復作業などボランティアを集い、実際行動できるようにとりくんだ。

・命の学習

心友助産の方々に2月10日に来ていただき出産や赤ちゃんについてお話を聴いた。梅本先生から食育についての学習もしていただいた。デートDV防止の授業 参画ネットなら来て頂いてお話を聞いた。また、トランスジェンダー理解について李洋さんを招いて「多様な生き方」について講演して頂いた。いろんな生き方をされている人たちと一緒に生きていく上で命の大切さを考え、自由でまっすぐな生き方を実践できるように取り組んだ。

[2年生]

・多文化共生の学習

よく耳にする迷信や言い伝えをみんなで出し合い、そこに科学的根拠があるかどうかを考えた。「タイムトラベラーゆき」を使い、部落差別の歴史から差別のおかしさを学び取った。

・職場体験

職場体験に向けて、10月から事前学習を展開。11月に看護協会の方を招き、看護師の仕事についてや簡単な看護体験をした。また、3年生の体験談を聞いた。「職場体験で夢ができて、進路決定もできた」という刺激的な話を聞くことができ、やる気のなかった生徒が前向きになる姿勢も見られた。敬語などの基礎から働くことの苦労や意義までも学習しつつ、職場体験に向けて学習を進めた。

・国際理解教育

アニメ「残された名刺」を通して在日一世の日本で置かれた状況を知り、創氏改名や強制連行で日本にいる在日の人たちのことを深く考える。「アンネの日記」を通して戦争によって大きく人生を変えられた人たちのことを知り、今でもいろんなところで起こっている戦争について考え、周りの国々や人々との交流の大切さを知り、行動できるよう取り組んだ。

[3年生]

・進路学習

上級学校訪問を各学校が行うオープンキャンパスの中から各自が選んで参加をした。そして、受検に対する意識を高めるため、この訪問の重要性について事前に学習を重ね、服装・頭髪等のチェックについてもきびしく指導した。また、学校によって時期が異なるため全体の動きや高校への対応など忙しい時期と重なり大変であった。

・進路学習に関わって、人権の視点からの学習

○畝傍中学校夜間学級の取り組みに学ぼう

- ・畝傍中学校夜間学級のあゆみ
- ・夜間学級の時間割
- ・夜間学級で学習している方々
- ・卒業生の作文
- ・映画『学校』の視聴

[全校]

○「反戦平和いのち」の集い

7月14日(月)本校体育館にちゃんへんさんを招きチャンヘンサンのパフォーマンスやラップに交え、在日朝鮮人三世として生まれ、現在に至るまでの生い立ちを含めて今でも続く差別の実態を話して下さった。

○人権フェスタ

人権作文発表は、各学年から1名ずつ発表があった、3年から友達を思いやる内容、2年からは、東北大震災の地に行つての報告、一年生からは、反戦平和についての発表であった。どの文章も自分たちの考えや経験に基づいた考えが含まれていて毎年素晴らしい発表だと思います。この部分は、周りに伝えたいという思いが、どの生徒の作文にも含まれていた。

3年からは、夜中交流のようすの報告があり、学ぶことの大切さについてアンケートの集計発表と考察があった。夜中との交流を通して、自分がなぜ学ぶ必要があるかを、夜中の生徒さんを通して理解してくれたように思う。

もう一つ3年生から、劇の大作が発表された。この劇は、人種差別で苦しむ青年が日本に来て、夜中の存在を知り、文字を学び、文字を知ること事を通して、自分の道を求め、成長していく黒人青年の姿を描いた劇であった。この劇を通して1・2年生にもわかりやすく、良く理解できた。

②人権が尊重される教育(確かな人権を身につけるための環境作り等)への取り組み内容

- ・人権を基盤にした生徒指導
- ・いじめをなくすための体制づくりー早期発見と早期対応
- ・不登校生や児童虐待に対して、関係機関とのケース会議
- ・教職員の人権意識を高める研修と生徒理解のための共通認識

2. 保・幼・小・中及び学年間の連携と指導の継続性のための取り組み内容

①保・幼・小・中連絡会などの実施やその内容

- ・畝傍中学校校区ブロック研修会での保育園と幼稚園、小学校、中学校での人権学習の取り組みや生徒の交流
- ・3小学校との連絡会ー6年生の授業参観と担任との交流

②学年(年齢)間の連携やその内容

- ・校内人推委員会で年間計画を交流し、学年に応じた取り組みを行う。
- ・校内人推委員会を月1回開き、各学年の人権教育の計画の交流を行った。

3. 家庭・地域との連携等について(情報提供、連携の体制等)

①PTA・校区(地区)人権教育推進協議会(地区懇への参加など)との連携について

- ・PTA主催の地区別懇談会
- ・小学校校区人推協主催の懇談会に参加。

②授業参観や懇談会などでの人権学習の実施について

- ・10月31日に人権学習の授業参観と人権をテーマにしたPTA人権教育部の研修会。今年は「ネットと子どもの人権」と題して黒田恵裕先生を招いてLINE、ツイッターなどの落とし穴やネットいじめ、ネット詐欺、差別情報へのアクセスなど研修した。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ ）